

3) 社会復帰期の到達目標

- 疾病に対する病識及び自らの行為に関する病識を深め、健康で安全な生活を送る動機付けを十分に得る。
- 服薬自己管理を経て服薬や治療の継続の必要性を理解する。
- 自ら置かれている法的な医療的な状況を理解して、協力を得ながら健康で安全な生活を目指す。
- 外泊を体験することによる生活圏の広がりによって、随伴的に具体的な場面で自己主張や怒りや衝動性をコントロールし、問題解決、必要に応じて援助を求める方法、社会資源の活用を体験する。
- 対人関係では通院医療機関スタッフや社会復帰調整官及び精神保健福祉関係諸機関の職員と具体的で信頼に基礎を置いた関係を構築する。社会資源の利用や援助機関を具体的に体験し理解する。
- 困った時の援助の求め方や自立した生活を営むことに必要な方法を会得する。
- 病気の再発の徴候を理解して早期に援助者に協力を求めるなど危機管理を学ぶ。
- 家族や援助者の関係を調整し、可能な援助を得る関係を構築する。